

# 開成の杜

第112号 ●2020年6月11日 ●郡山女子大学大学院 ●郡山女子大学 ●郡山女子大学短期大学部 ●郡山女子大学附属高等学校 ●郡山女子大学附属幼稚園

●発行所／学校法人郡山開成学園 〒963-8503 郡山市開成3丁目25番2号 ☎024(932)4848(代) <https://www.koriyama-kgc.ac.jp> ●発行人／学園長 関口 修



せせらぎこみちと図書館

(撮影 山口郁生)

## 自然の摂理に学びながら



理事長・学園長  
関口 修

「歳月は人を待たず」との教訓は様々な状況でも使われる真理です。多様な思いを巡らしているうちに時間ばかりが過ぎ去って、大切な判断に後れを取ってしまったことへの反省を意味します。桜を見損なったときにも「三日みぬまの桜かな」と云います。

今年も開成山の桜は見事に咲き誇ってくれました。この桜は地域社会の歴史そのもので、過去には天然記念物に指定された由緒ある桜です。そのため、本学園の第74回創立記念日（4月22日）に、学園と桜の縁を紹介しようとしたのですが、新型コロナウイルスによる感染症を恐れるあまり、満開の桜を愛でる余裕を失い、菖蒲の季節を迎えてしまいました。学生・生徒の皆さんにとっても新型コロナウイルスによる自粛要請で、不安な日々を過ごしたことでしょう。時が過ぎるにつれ、失った時間の重さを知るこのごろと思います。

もう少し新型コロナウイルス対策の判断を早くしていれば社会の混乱を回避できたと思います。時の流れは待つていくれません。毎年このことですが、桜花の移ろいは不変的な現象があり、人としてのあり方を教えてくれます。風が吹けば

吹雪のように散ると思えますが、雨が降り、雪が積もろうとも容易には散りません。散るに準備が必要なのです。それは、若葉が芽吹くための勢いを溜めてから灰かな薄紅色のなごりを残して散るのです。この目立たない行為は森羅万象であり、自然の知恵と思えます。

現代の社会は多様な価値観による物ばかりか雑多なウイルスまでもが存在し、それらが氾濫し、選択すら躊躇してしまう困難な状況ではないでしょうか。人間が社会を構成する為には次の世代を意識して今を生きていくことです。決して自分一人の営みではなく、代えがたい余人に引き継がなければならない景色は、その営みを草木の景観は、その営みをもって人間の有り方を示しているが故に飲ばれているのだと思います。

翻って、新型コロナウイルスをめぐる昨今の社会現象には、極めて浅はかな行為・行動が多く見られます。お互いに協力しなければならぬ社会生活の概念には程遠い行為が見えられます。

学生・生徒の皆さんには、人類が克服しなければならぬ諸課題を解決する能力が求められています。自然の力には計り知れない深淵で豊かな知恵があることを学ぶことも意義があるのではないのでしょうか。あらゆる事象を多面的に考察することは学びの本質です。

郡山女子大学 家政学部人間生活学科が

2021年4月 生活科学科に!!

人間生活学科は、これまで個人および、家庭地域を生活者の視点から学習し、人間生活の向上と地域社会の発展に寄与する人材を養成してきた。

現代社会においては、情報科学分野が進展し、生活の場においても科学を活用する機会が多くなっている。人間の生活を科学的観点から教育研究し、専門性をより明確にするために学科学を「生活科学科」とすることとした。

生活科学とは、科学的根拠に基づいて学習し、生活者の視点から個人や家庭、地域社会を豊かにしていく分野である。現代社会で求められている生活科学や情報科学の知識と技術を実践的な教育により習得することで、主体性や協働性、思考表現力を培い、課題解決能力を有して地域社会の活性化に貢献できる専門的人材を育成する。

■社会福祉専攻
社会福祉と介護について専門的かつ

ラジオ「ほびらんど」に出演
郡山女子大学食物栄養学科 准教授 郡司 尚子

NHK福島放送局のラジオ第一(福島県域)にて月曜から金曜の17時〜18時に放送している「ほびらんど」に出演しました。

「ほびらんど」は、福島を元気にしたいという願いのもとに集結した愛すべき5組のパソナリティーが、おもしろトークと個性豊かな企画を次々と繰りだす「地域密着リスナ



参加型バラエティ番組」となっています。私が出演した月曜日は、べんぎんナッツのお二人と、佐藤彩乃アナウンサーが担当する曜日、県内の食にまつわる取り組みを紹介する「めえなふくしま」というコーナーがあります。このコーナーは、昨年までJA婦人部の方々が福島の食材を紹介してきたコーナーでしたが、今年度はJA婦人部に加え、若い世代の方たちにも参加してもらいたいとの提案をいただき、県内にある食に関わる大学(福島大学、福島学院大学、短期大学部、桜の聖母短期大学、会津大学短期大学部、本学、本短期

大学部)がそれぞれ年に3〜4回担当し、福島県の食材や料理などを、試食を交えながら紹介。さらには大学で行っている食への取り組みなども発信できるコーナーとなっています。今回は、今後様々な大学がこのコーナーに関わり、食の魅力を紹介していくことを伝えるべく、ガイダンスとして出演してきました。現在本学が、葛尾村と地域連携協定を締結しエゴ栽培や商品開発を行っていることを交えながら、実際に学生が考案した商品である「じゅうねんほろほろクッキー」「じゅうねんマドレーヌ」「じゅうねんアイス」を持参し、試食していただきながら楽しく大学の取組み、これからの意気込みなどを発信することができました。

- 【勤続20年】 安田 純子 (大学) 難波めぐみ (大学) 阿部恵利子 (大学) 藤田 京子 (大学) 坂上 茂 (短大) 福島寅太郎 (短大) 會田 容弘 (短大) 鈴木 美幸 (事務局) 小川 一樹 (事務局)
【勤続10年】 岡部 聡子 (大学) 山上 裕子 (短大) 富本 栄次 (高校) 平野由香子 (事務局) 阿部 真澄 (事務局)

新設 生活科学科
社会福祉専攻 定員20名程度
建築デザイン専攻 定員20名程度
●社会福祉士(国家試験受験資格) ●介護福祉士(国家試験受験資格) ●高等学校教諭一種免許状(家庭) ●中学校教諭一種免許状(家庭) ●特別支援学校教諭一種免許状
●一級建築士(国家試験受験資格) ●二級建築士(国家試験受験資格) ●高等学校教諭一種免許状(工業・家庭) ●中学校教諭一種免許状(家庭) ●特別支援学校教諭一種免許状

■建築デザイン専攻
少人数制を活かして体験や体感を重視した実践的な教育と学生一人ひとりの個性に合わせた教育を展開し、地域社会で活躍する女性を育成する。
一級建築士試験に卒業生が2年連続合格
超難関国家資格である一級建築士試験に、本学科卒業生が2年連続合格しました。一級建築士は、今年度から大学卒業後すぐに受験可能になり(2年の実務経験後に取得)、大学の学修がより重要になりました。建築デザイン専攻は、少人数制で対策講座が充実している資格取得には最適な環境が整っています。

永年勤続者表彰

令和2年度当初学園全体職員会が4月13日(月)、建学記念講堂大ホールで行われた。その席上、永年勤続者の表彰が行われ、満40年から10年勤務の計19人に表彰状と金一封が贈られた。受表彰者を代表して大学・食物



表彰者の皆さん

令和元年度 附属高校進路先一覧

Table with 2 columns: 進路先 (Destination) and 人数 (Number of students). Lists various universities and colleges such as 郡山女子大学, 東北公益文化大学, etc.

2020年3月31日現在(在籍130名)

Table with 2 columns: 進路先 (Destination) and 人数 (Number of students). Lists various vocational schools and job placements such as マリールイズ美容専門学校, 公務員(埼玉県伊奈町), etc.

令和元年度 附属高校における進路状況について

令和元年度卒業生の希望進路先合格・内定の割合は数年前に目標の100%となった。ほとんどの生徒が第一志望の進路先に合格・内定をし、満足度の高い結果を得ることができた。進路先の内訳としては、進学が89%、就職が9%である。
進学では本学に5名、本短大に40名が合格したのをはじめ、大学へ43名(専門職大学1名を含む)、短期大学に42名が合格した。
近年の傾向として、附属高校として本学志向は変わらず高いが、一方で国公立大学を含め他大学への進学

# 郡山女子大学副学長として



細野 信弘

2020年の入学式は学長が各教室に分かれた新入生に、ウエブでのライブ配信により「入学許可」を与えるという、異例の形で挙行された。「新型コロナウイルス」感染症拡大防止のために、記念講堂での式典自粛を余儀なくされたからです。

4月になり野山や公園には花々が咲き乱れたが、花見を楽しむ人々の姿はまばらで静かな春となった。私は、レイチェルカーソンが1962年に「朝

早く起きて、鳥の鳴き声がしない。それでいて春だけがやってくる」と農業による環境汚染の深刻さを世に問うた、名著「沈黙の春」の一節を思い出した。私たちは2011年放射能汚染により外出もままならない「沈黙の春」も経験している。感染症拡大による「沈黙の春」は人間の営みに対する自然からの警告かもしれません。

この未曾有の災害は社会に対して大きな変革を迫るでしょう。学生諸姉には、変化する時代の流れを的確にとらえる感性をみがき、勉学に励んでいただきたい。我々教員も一生懸命学ぶつもりです。コロナに負けなために。

## 学生の皆さんに一言



影山 彌

新型コロナウイルスが猛威をふるい続けていますが、学生の皆さんには不安に負けずに、学問を着実に学ぶことを期待します。

その一参考として、12世紀ヨーロッパで最初に誕生した、イタリアのボローニャ大学やパリ大学のその当時の様子を紹介いたします。

当時の大学は、高度の知識を教育するための社会制度であり、知識を追求して止まない人々の共同体でした。大学の教育は、スコラ神学を中心とし、今日「教養教育」といわれる、「広い知識」と密接に関わる「リベラルアーツ」(liberal arts 自由な技)を必修科目とした。その内容は、大学の

## 就職部より

2019年度の就職率は昨年に続き大学・短大100%になりました。関係各位のご支援に厚く御礼を申し上げます。

就職活動や就職の意思決定も早く、福島県内への就職は大学・短大72%で地域に根ざした就職で貢献をしています。本学は資格を活かした専門職の就職が多く、短大の幼児教育学科は99%となり、第一期生を送り出した地域創成学科も3つの特色を活かし多方面に就職しています。

さて、大学4年生・短大2年生の就職活動は新型コロナウイルス感染拡大で企業説明会が中止になり、不安を抱えている学生も多く、就職部ではWebでの情報配信、就職相談、履歴書添削等を行っています。昨年

定者が出始めました。Web上での会社説明会、就職試験、面接が行われており就職環境が大きく変化しています。

新型コロナウイルス感染拡大で景気悪化は避けられず、社会がどのように変化するかを自分なりに考え、変化に適應できる会社かどうか見極める事が大切です。各自が進路を主体的に企業を選ぶ就職活動を行って下さい。

危機の時代に体験したことは次のチャンスにつながる備えになると考え、今学び、いずれ花開く能力を磨いて下さい。



## 地域創成プロジェクト演習で地域の人気パン店取材

短期大学部地域創成学科では、地域創成プロジェクト演習に取り組んでいる。2019年度の2年生のうち地域の魅力を伝える新聞記者活動に取り組む学生5人(高橋郁乃、松本咲蘭、嵯峨寛子、吉川鮎耶香、鈴木有咲)全員既卒が、地域の人気パン店を取材した。

訪れたのは、JR郡山駅のエスパル郡山にある「VIE DE FRANCE(ヴィ・ド・フランス)」。駅ナカという立地から、幅広い年代のお客様に人気がある。イートインスペースもあるため、飲み物を購入し、ゆっくりパンを味わうこともできる。5人は、店長の神沼正彦さんから、毎月5、



知りたい!めばえ新聞

6品の新商品が登場することや、季節感を取り入れていること。また、安くておいしいパンを提供できる秘訣などを、様々なお話を聞きました。その取材の成果を「知りたい!めばえ新聞」として発行した。

## 特集 研修紀行

大学・短大

大学・短期大学部では、今年も各学科の特徴を生かした研修旅行を行った。学んだ新しい知識や世界観はこれからの学習に大いに役立つことでしょう。

### フランス旅行で感じたこと

大学・食物栄養学科 蒲生 絢香

私はフランスパリへの研修旅行に参加しました。海外には過去に3度渡航していますが、ヨーロッパに行くのは初めてでした。この研修の目的はピストロでの食事、ドレッシングをして一つ星レストランでのコース料理、マルシェの見学、料理学校での研修など食に関する様々な体験をすることでした。

海外に行くたびに私が驚くのは、日本と海外の違いです。新たな発見や発想にふれ、自分にとっての最善を常に考え行動する必要があると感じました。社会人になる前に貴重な体験をすることが出来て良かったと思います。

### 歴史的建造物と伝統文化に触れて

短大・地域創成学科 飯笹 祐

研修旅行1日目は伊勢神宮の内宮、外宮を参拝し、式年遷宮が行われる場所や正宮や別宮などを巡りました。伊勢神宮の自然を間近で感じることができ神秘的な雰囲気や印象に残りました。2日目は鳥羽水族館を見学後、名古屋市内自主研修でした。鳥羽水族館では副館長さんによる講演で海牛類について学び、水族館で生き物を飼育するまでの苦労を知ることができました。名古屋市内自主研修では、名古屋市内を見学するオプションツアーもありました。3日目は名古屋城や名古屋市内の美術館、明治村を見学しました。

この研修旅行を通して、伊勢神宮をはじめとする歴史的な建造物から伝統技術や美術の素晴らしさを体感し、その土地の風土や食文化も学ぶことができ、とても良い経験ができました。



料理学校の生徒さんたちと



伊勢神宮(内宮)鳥居前にて

# 大学院・大学・短大・専攻科 367名 希望の春

開成桜の花びらが舞う4月16日、郡山女子大学大学院修士課程第27回、郡山女子大学第55回、郡山女子大学短期大学部第71回、郡山女子大学短期大学部専攻科第21回の入学式が行われた。大学院修士課程2名、大学95名、3年次編入7名、短期大学部260名、短期大学部専攻科3名の計367名が入学を許可

された。新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、密閉・密集状態にならないよう新入生は学科ごとに各教室に分散し、学長室から配信される動画を視聴する形式で実施した。関口修学長は告辞の中で「広く学びながら大いに教養を身につけてもらいたい。教養とは知識だけでなく、

物事の本質を理解し、十分に活用して自分自身を高めることなのです」と呼び掛けた。新入生を代表し、短期大学部地域創成学科の相築菜緒さんが「本学で学べることに誇りを持ち、確かな学問研究と教養を備えた女性になり、社会に貢献していけるよう努力します」と誓いの言葉を述べた。

# 入学 ようこそ 開成の杜へ



## 私が郡山女子大学を 志願した理由



大学  
人間生活学科  
田中 彩希

私は将来、医療ソーシャルワーカーとして、支援を必要とする人とその家族をサポートしたいと考えています。様々な不安や悩みを持つ人に寄り添えるよう、社会福祉士と介護福祉士の2つの国家資格の取得を目指しています。本学の福祉コースでは、2つの受験資格を得られるほか、就職支援が充実しており、安心して夢を追いかけることに魅力を感じ、志願しました。「建学の精神」を基に、一人の女性として成長していきたいです。



大学  
食物栄養学科  
相川 葵

私は、将来管理栄養士になり、食を通して子どもたちと関わりたいと考えています。本学では、国家試験の対策に力を入れているほか、県内の地域や企業との連携した共同開発に取り組んでいるため、福島の食材を生かした商品を幅広い方々に伝えられることが魅力だと思志望しました。将来の夢を叶えるため、整った環境である本学で4年間、管理栄養士に求められる知識や技術を十分に身につけ、仲間と切磋琢磨しながら勉学に努めていきたいです。



短大  
幼児教育学科  
吉田 遥奈

私は子どもの頃から叔母の母校である本学に憧れがありました。附属幼稚園の子どもの元気な様子や、地域で活躍する先輩方の姿を見なが

## 卒業

# 370名が新たな一歩

## 大学院・大学・短期大学部

令和元年度は、大学院修士課程3名、大学102名、短期大学部26

## 附属高等学校

3月3日、桃の節句のよき日に第61回卒業式が建学記念講堂で挙行された。普通科80名、音楽科6名、美術科10名、食物科34名の計130名が学び舎を後にした。一人ひとりが呼名され、各科の総代に卒業証書が手渡された。賞状授与では学園長賞1名、学校長賞4名、皆勤賞28名、精勤賞10名が表彰された。



3名、専攻科2名の計370名が万感の思いを胸に、学び舎を巣立つていきました。



佐々木貞子校長は「どのような試練にも顔を上げて前へ進んでほしい。人との比較ではなく、自らを、自らの人格を磨き続けてください」と述べた。在校生代表の伊藤さやかさん(2年)が送辞を、卒業生代表の沼田清香さんが答辞を述べ、恩師や仲間との思い出を振り返り、新たな一歩を踏み出した。

## 附属幼稚園

穏やかな天気恵まれた3月18日、卒園式が行われ、53名が楽しく過ごした園舎をあとにした。一人ひとり名前を呼ばれ「はい」と元気な返事をする、賀門康博園長が各組ごとに「げんきで あかるくてんまで のびよ」と卒園証書を読み上げた。園児たちは「小学校へ行っても『よくみる よくきく よくかんがえて』を守り、勉強や運動に励みます」と誓った。



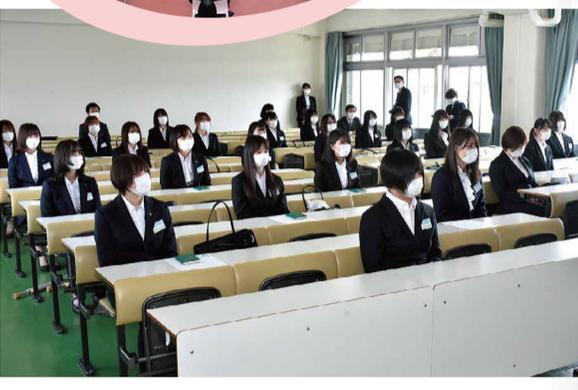


誓いの言葉を述べる長谷川さん

**附属高等学校**  
 満開の開成校に祝福されるように第64回入学式が4月9日、高校第2体育館で行われた。  
 新入生は普通科97名、音楽科8名、美術科17名、食物科39名の計161名。一人ひとりが呼名され、佐々木貞子校長から入学を許可された。



佐々木校長は「学校生活を通じ、なりたい自分になるという夢を実現してください」と式辞を述べた。  
 関口修学園長の祝辞の後、在校生代表の伊藤さやかさんが歓迎のあいさつをした。新入生代表の長谷川珠姫さんが「勉強と部活動を両立させ、確かな学力と豊かな教養を身につけます」と誓った。



**附属幼稚園**  
 春の光にあふれた4月11日、64名の入園児が保護者と手をつないで入場式に臨んだ。  
 一人ひとりの名前が呼ばれると、元気な声で返事をした。賀門康博園長が入園を許可し、楽しい幼稚園生活を送れるよう励ました。園児たちは声をそろえて「ぼくたち、わたしたちは「よくみる よくきく よくかながえて」げんきにあそびます」と約束した。



私は将来、調理師の資格をもち、人々の健康を考え、支えることのできる管理栄養士になりたいと思っています。そのために調理の基本をしっかりとし、食についてよく考えるなど三年間一生懸命勉強に励みたいと考えています。また、学校生活を充実したものにできるよう周りをよく見て積極的に行動し、将来の夢の実現に近づけるよう、一日一日を大切に過ごしていきたいです。



附属高等学校 食物科 佐久間 栞

私は中学校三年生の時に高校生の剣道の試合を見る機会が多くありました。その中でも附属高校生の剣道を見たときに、とてもきれいな剣道であり、強い魅力を感じ、附属高校を志願しました。また、私は特進クラスに在籍しているため、部活動だけではなく勉強にも力を入れて取り組んでいきたいと思っています。部活動ではインターハイ出場、学習面では国公立大学への進学を目指すという目標を達成するために、日々努力していきたいと思っています。

**私が附属高等学校を志願した理由**

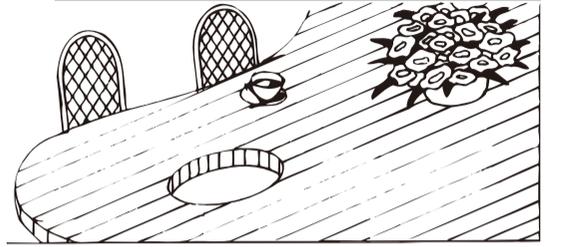
ら、次第に保育者に興味を持ちました。高校生となり、改めて本学が知識と品性を備えた自立できる女性を育成していることを知りました。私は自己に責任を持ち、子どもたちの個性を尊重し、学び続ける保育士になりたいと考えています。そして、その夢を実現できるのは本学だと信じて志願しました。

- 大学・短大・附属高校 卒業にあたっての受賞者**
- 【大学】
    - 学園長賞 酒井梢(人間生活学科)
    - 大場未来(食物栄養学科)
    - 高橋寿美(食物栄養学科)
    - 商業施設士協会賞 二瓶紗紀(人間生活学科)
    - 社会福祉士養成校協会賞 関川眞子(人間生活学科)
    - 介護福祉士養成施設協会賞 佐藤香代子(人間生活学科)
    - 全国栄養士養成施設協会賞 田中美咲(食物栄養学科)
  - 【短大】
    - 学園長賞 岩崎千春(健康栄養学科)
    - 樋口純(幼児教育学科)
    - 大竹実里(音楽科)
    - 佐藤華純(地域創成学科)
    - 藤田真由子(地域創成学科)
    - 全国栄養士養成施設協会賞 齋藤恵(健康栄養学科)
    - フードスペシャリスト協会賞 鏡沼恵(健康栄養学科)
    - 全国保育士養成協議会賞 樋口純(幼児教育学科)
    - 情報処理士協会賞 鈴木百華(地域創成学科)
  - 【附属高等学校】
    - 学園長賞 土屋香凛(食物科)
    - 学校長賞 沼田清香(普通科)
    - 松崎春香(普通科)
    - 遠藤紫桜(普通科)
    - 長谷川瑠海(音楽科)
  - 【皆勤賞】
    - 伊野佑香・遠藤楓花・大越亜季・金澤磨里・栗原菜美・佐藤温花・高橋海里・時田五葉・吉田里乃・渡部琴音・伊藤風侑・金澤磨佑・菊池優莉奈・福永英巳・柳沼麻紀・朝倉未来・五十嵐由・上野沙耶・遠藤紫桜・大原瑠奈・加藤百華・沼田清香(普通科)・長谷川瑠海(音楽科)・安部里奈・市川真奈美・大山美樹・佐々木百花・結城亜美

- 【特別教育活動功労賞】
  - 朝倉未来・鯉淵千夏・佐藤愛海・有明愛祐佳・加藤百華・吉田里乃・山田あずさ・大塚萌華・伊野祐香(バレーボール部)・國分陽奈・伊藤笑・高橋海里・若松優希・遠藤楓花・柳沼麻紀(卓球部)・五十嵐由(新体操部)・大越亜季・小賀坂りん・伊藤風侑(平楽部)・遠藤紫桜・小林恭子・佐々木由翔(剣道部)・宗像優花・鹿子田楓花・西牧彩奈・阿久津乃愛・上野沙耶・田母神怜奈・中畑心里(ハンドボール部)・佐々木かえで(書道部)・齋藤希海・佐々木百花・影山采花(影山園果)・上野野梅花・岸琴海・佐藤温花・大和田綾乃・菊地萌々子・遠藤菜央・佐藤沙希(マーチングバンド部)
- 【生徒会役員功労賞】
  - 沼田清香・長岡優菜・井上ゆう(生徒会)
  - 高橋海里・小賀坂りん(風紀委員会)
  - 山田あずさ・西牧彩奈(整備委員会)
  - 秋元あみ・新井ゆず(保健委員会)
  - 上野沙耶・伊藤風侑(体育委員会)
  - 佐々木百花(出版委員会)
  - 渡部琴音(図書委員会)
- 【部活動功労者】
  - 渡部琴音・菊池優莉奈(卓球部)
  - 安部里奈・波多野亜優(テニス部)
  - 今井真海・堀田美紅(陸上競技部)
  - 桑原未智瑠(剣道部)・柳沼萌(弓道部)・富塚七聖・金澤愛華・遠藤佳乃・齋藤真白・長谷川瑠海・相楽栞奈(合唱部)・大山美樹(英語部)・今村友里・伊東玲奈(放送部)
- 【日本私立中学高校連合会賞】
  - 沼田清香
- 【県私立中学高校保護者会長賞】
  - 松崎春香
- 【全国調理師養成施設協会賞】
  - 土屋香凛

# ティールーム

コミュニケーション・フォーラム



「闘」ではなく、「共存」を



宗形 盛夫  
附属高校教諭

臨時休校で、生徒たちの明るい声が校内から聞こえなくなった4月末。ノベル賞受賞者である京大、山中伸弥教授の、次のような考えに共感を覚えた。

「ウイルス感染を完全に防ぐのはもはや不可能な段階となっている。院内感染はどこでも起こり得ることであり、我々はそれを受容しなければならぬ。ところが一度院内感染が起ると、対策が不十分だったからではないかと、責任の矛先を病院や医療従事者に向ける。そこから偏見や差別が生まれ、欧米とは違った意味での医療崩壊が始まる。これを防ぐには、我々はウイルスと『闘う』のではなく、『共存する』という考えを持つべきだ。いかに我々がこのウイルスを受け入れるか。日本人の自律性が試されている」

世界中の人々がコロナ禍に苦しみ、多数の犠牲者が出ている中で、「ウイルスとの共存」を訴える山中教授の言葉は、悠長なものに映るかもしれない。しかし、彼のメッセージの根底には、はかりしれないほど深遠な、日本人への信頼がある。

今、世の中は感染者や最前線でウイルスと向き合い治療にあたっている医療従事者に、やり場のない怒りの矛先を向けている。差別と偏見からは何も生まれないはずなのに。

既に初夏の彩りとなった校内に、生徒たちの元気な声が響く日常が戻る日を願わずにはられない。

「一日の始まり」



奥 美代  
附属幼稚園副園長

幼稚園はいつもお子さんたちのいろいろな思いに溢れています。とりわけ4月はお子さんの期待や喜び、そして不安など様々な気持ちを受け入れる日々が続きます。

「おうちの手に手を引かれてここにこしながら登園してきた新入園の2歳・3歳児のお子さんたち。しかし、保育室に近くなればなるほどお顔が曇っていくのが離れていてもわかります。保育室の前ではおうちの人の陰に隠れてしまい、とうとう泣き出してしまいました。『ママがいい』『パパがいい』『かえりたい』そう言って泣くお子さん。『そうよね、ママがいいよね、パパがいいよね』『だいじょうぶよ、だいじょうぶ。』お子さんを抱っこしながらそうした気持ちに共感し、風に泳ぐこいのほりを眺めながら園内を散歩したり、たわいのない話をしたりします。そうしてお子さんの息遣いに合わせながらゆっくりとした

時間を過ごすことで、お子さんが少しずつこちらに気持ちを寄せてきてくれるのを感じるようになります。元気に遊ぶお子さんたちの声が響きあう幼稚園。新しい出会い・毎朝の出会いを大切にするといい小さな積み重ねがお子さんの笑顔に繋がると信じて、今朝も保育室の前に立ちます。



園児たちと一緒に

「おうち時間」



吉田 明加  
短大・幼児教育学科2年

「おうち時間」  
昨今は、コロナウイルス感染拡大が大変危惧されています。私の父は持病があり、万が一コロナウイルスに感染した場合、重症化する恐れがあります。そのため、私の家族はコロナウイルスが蔓延し始めた頃から外出自粛を徹底していました。

4月になっても感染は収まる様子がなく、全国を対象に緊急事態宣言が発令されたことで家の中で過ごす時間が増え、小学校の頃から部活動やクラブ活動などに取り組み、家の中で過ごす時間が少なかった私にとって、家で長時間過ごすことは非常に新鮮でした。そのような状況で、家での時

間をどのように過ごせば良いか考え、今までできなかった新しい事に挑戦することにしました。そこで、私は姉に料理やお菓子作りを教わりました。また、趣味だった編み物もこれまで以上に取り組み、充実したおうち時間を過ごすことができました。

しかし、毎日家にいると生活習慣が乱れ、夜遅くまで眠れないことが続くようになりました。外に出て運動をしたい気持ちもありましたが、もし自分が感染していたら、家族に感染させてしまったらと考えると外出はできませんでした。そこで、花壇の花に水をあげたり、ベランダで少し水を浴びる程度ですが、外の空気を吸ってリラックスできる時間を作りました。さらに、家にいる私と姉で料理以外にも軽いストレッチや筋トレをして少しでも身体を動かすように試みました。そのおかげで、夜もしっかりと眠れるようになり生活習慣も安定していききました。

感染者が減少している中ですが、後もう少しおうち時間を満喫して安全な生活ができるようにみんな徹底していきましょう。

## 私の本棚

『センス・オブ・ワンダー』  
(新潮社)

郡山女子大学短期大学部  
幼児教育学科  
准教授 柴田 卓

この本は、私がこれまでに出会った中で、その後の人生に最も影響を及ぼした本の一つです。今から20年近く前、自然保育に関する研修会に参加しました。その時、センス・オブ・

私が生業とするのは人体解剖学。この解剖学には肉眼解剖学(マクロ解剖学)、組織学、発生学、人類学などが含まれます。学問分野としては日本でも最も古く、日本解剖学会は第125回を重ねています。あの森鷗外一族(於菟、優、富)も解剖学者でした。現代の解剖学研究は遺伝子や転写因子の名称が飛び交う学会で、古くて新しい研究分野となつていきます。この仕事を続けること40有余年ですが、今思うことを述べます。

生活診断室 シリーズ 65

### ヒトの形態の多様性

郡山女子大学 食物栄養学科  
教授 西山 慶治

一個半ほど上下にズレる変異があります。分かり易くは、胴長や脚長となります。果たして、どちらが進化している? どちらが長生きか? 見

た目では、脚長青年が子孫を残すチャンスが多いかも知れませんが、嘗ての原人の寿命を調べると身長120cm程度が長寿と言われています。動物でも、キリンは首が長い程、餌を獲得できて、子孫も多く残せますが、血圧が300mmHgにも達して短命となります。キリンはこの30年で頭数が6割に減っています。最近、ヒトが長寿を獲得するための体型を提唱した学者がいます。身長は小さく、胴長、短足などの特徴を有します。あなたはどの体型を好みますか。

得するための体型を提唱した学者がいます。身長は小さく、胴長、短足などの特徴を有します。あなたはどの体型を好みますか。

ヒトの形態には随所に個性があり、破格とか変異と呼びます。一般的に多様性と言うことです。例えば、脚(下肢)に分布する神経は脊柱(背骨)の骨の間から出て脚に分布します。その位置は背骨

ワンダーという言葉が頻繁に使われていたのですが、私は全く意味がわかりませんでした。研修の帰りに書店に立ち寄り、この本を手にとってみたのです。話は著者のレイチェルが4歳の甥ロジャーと海辺の別荘で過ごした神秘的な体験からはじまります。二人は嵐の日も穏やかな日も、夜も昼も海辺や森に向かいます。何かをさせるでもなく、ただ一緒に自然の神秘さを楽しみ、発見する喜びを分かち合っていたのです。そしてレイチェルは「子ども達の世界は、いつも生き生きとして新鮮で美しく、驚きと感激に満ちあふれています。残念

# ようこそ 郡山開成学園へ

## 新任教職員の方々のご紹介

### 郡山女子大学

(4月1日付)

〔本採用〕



伊藤 真里 助教

郡山女子大学人間生活学  
科建築デザインコース卒  
株式会社エスデー設計研究所  
所属 大学・人間生活学科



瀬谷 真理子 准教授

郡山女子大学家政学部被  
服科卒  
県立郡山東高校校長  
所属 大学・人間生活学科



諏訪 雅貴 准教授

筑波大学大学院博士課程  
体育科学研究科修了  
トヨタ自動車安全健康推進  
部医務食運動トレーナー  
所属 大学・食物栄養学科

### 短期大学部

〔期限付採用〕



高橋 寿実 助手

郡山女子大学家政学部食  
物栄養学科卒  
所属 短大・健康栄養学科

### 附属高校

〔期限付採用〕



佐藤 舜 講師

東京理科大学理学部第一  
部数学科卒  
福島県立白河第二高等学  
校時間講師 担当 数学



吉田 惇 講師

東海大学体育学部卒  
トヨタカーライバ  
担当 保健体育



三善 瑠美 講師

清泉女子大学文学部英語  
英文学科卒  
須賀川市第二中学校常勤講師  
担当 英語



渡辺 智博 講師

上越教育大学大学院学校  
教育研究科修了  
田村市立船引中学校常勤  
講師 担当 地歴公民

### 附属幼稚園

〔本採用〕



横田 安寿 教諭

郡山女子大学短期大学部  
幼児教育学科卒  
平成27年から期限付教諭  
所属 附属幼稚園



渡辺 千遥 教諭

郡山女子大学短期大学部  
幼児教育学科卒  
平成27年から期限付教諭  
所属 附属幼稚園

### 事務局

〔本採用〕



岸本 圭生 職員

郡山大学卒  
会津公共職業安定所  
平成27年から期限付職員  
所属 就職部

〔昇任〕

副学長 紺野 信弘

教授 石原 正道(大学・人間生活学科)

准教授 廣野 正子(大学・人間生活学科)

澤渡 優喜(短大・健康栄養学科)

柴田 卓(短大・幼児教育学科)

異動 國井 佳那子(図書館)

保健室 本田 弘美(学生生活部)

就職部 星 茉那(大学・食物栄養学科)

令和元年度で退職された方々

3月末日、次の方々が郡山開成

学園をご退職なさいました。

これまでのご尽力に心から感謝す

るとともに、今後のご活躍、ご健勝を

心からお祈り申し上げます。

第一定年

ポール・バーナムイ

(短大・幼児教育学科講師)

平間 法子(附属高校・教諭)

第二定年

小林 澄枝

(短大・健康栄養学科准教授)

### 依願退職

伊藤 哲章

(短大・幼児教育学科准教授)

佐藤 圭(附属高校・教諭)

期限付採用者 雇用期間満了退職

高橋 徹

(大学・食物栄養学科准教授)

南川 肇(短大・音楽科講師)

猪俣 照子(短大・幼児教育学科講師)

佐藤 美鈴(短大・健康栄養学科助手)

長尾 由美(附属高校・講師)

佐藤 理穂(事務局・就職部職員)



### 春高バレー 初戦で涙

第72回全日本バレーボール高校選

手権大会が1月5日、東京・武蔵野

の森総合スポーツプラザで行われた。

4年連続21回目の出場の附属高校

バレーボール部は1回戦で、鳥栖商業

(佐賀)と対戦。第1セットを25-22で

奪取。しかし、第2セットを18-25で

奪取。約600人の大応援団を前に1、2

年生は「来年、またここに帰ってくる」

と会場を後にした。

開会式では朝倉主将が国旗の旗手

を務め、各県の代表チームの先頭を

堂々と行進した。



相手のスパイクをブロックする本田選手(右)

国旗を手に堂々と行進する朝倉主将

### マーチングバンド部

◎第23回マーチング&バトンコンス

テージ東北大会(仙台市・仙台サン

プラザホール)

◎金賞

◎第19回マーチングステージ全国大

会(2月22日・23日 横浜市・神奈

川県民ホール)

◎講師者特別賞・優秀賞

鏡石町と、食と健康の分野で

連携協定

2月12日、本学と鏡石町は「食と

健康」の分野で連携協定を結んだ。

本学が持つ専門知識・技術、人材など

で協力し、鏡石町の地域活性化や町

民の健康分野で協力するもの。

締結式は町役場で行われ、関口修

理事長・学長と遠藤栄作町長が協

定書に署名押印した。



かたい握手を交わす関口理事長・学長と遠藤町長

### アカデミアン・コンソーシアム

ふくしま連携功労者表彰

アカデミアン・コンソーシアムふくし

まの大学間連携功労者表彰式が2月

18日、福島大学で行われ、本学・短期

大学部幼児教育学科の柴田講師が

表彰された。保育者を目指す学生に

外遊びの重要性を学んでもらうプロ

グラムをまとめたもの。柴田講師は4

年間、宮城県白石市や大玉村のフォレ

ストパークあだたらで、本学・短期大

学部、福島学院大、いわき短大の学生

等に自然遊びの大切さを伝え、今回

表彰された。柴田講師は「これからの

学生にも外遊びのおもしろさや楽し

さを経験してほしい」と語った。

### 女子学生懸賞作文

奨励賞受賞

一般社団法人福島県女性経営者

プラザが主催する「第6回女子学生

懸賞作文」授賞式が行われた。テ

ィマ「私は女性経営者になつて「こな

し」ことをやってみよう！」

小林 真美(大・食物栄養学科3月

卒)「管理栄養士として、人々の健康

のために」

石井 玲名(大・人間生活学科2年

「福島の食から繋げるコミュニケーション」

附属高校卒業生から

防犯カメラシステム寄贈

2月27日、令和元年度卒業生の保

護者・生徒を代表して沼田律子さん

沼田清香さんから佐々木校長に防犯

カメラシステムの目録が贈られた。「後

輩プリンセスのために大切に使用せ

ていただきます」と受け取った。

### 先輩を訪ねて

六角 美香子さん

平成11年度短期大学部生活芸術科卒業

現在、カメラマンとして卒業アルバム

制作等を中心に活躍している六角さ

ん。学生時代、卒業研究で映像デザ

イン(写真)を専攻したことがきっか

けで、写真の楽しさや奥深さを知り

将来この経験を活かした職業に就き

たいと考えるようになったそうです。

卒業後、(有)南風スタジオに就職。

20代後半で南風スタジオの屋号を先

代から頂戴し、独立することに。共

に働いていたスタッフ(平成15年度卒

業生・福本久美子さん)も、一緒に

頑張ってくれていることになりました。

### 令和2年度 関口育英奨学生決まる

令和2年度関口育英奨学生が、次の大

学生8人、短大生1人に決定しました。

〔大学〕

溝井侑希奈 (食物栄養学科)

及川 萌 (人間生活学科)

鈴木 慧 (人間生活学科)

野田 瞳 (人間生活学科)

高木由由美 (食物栄養学科)

野木 玲那 (食物栄養学科)

橋本 みく (食物栄養学科)

裏山 夏梨 (食物栄養学科)

〔短期大学部〕

石川 朋花 (幼児教育学科)

井野元紗綺 (健康栄養学科)

三浦 ひな (幼児教育学科)

佐藤 実優 (幼児教育学科)

宗像 優花 (幼児教育学科)

佐久間 栞 (幼児教育学科)

君島 里南 (幼児教育学科)

石井 愛依 (幼児教育学科)

橋本 結月 (幼児教育学科)

阿部 茉弥 (地域創成学科)

渡辺 里菜 (地域創成学科)

「私たちの仕事は、お客様の人生の

節目となる大切な場面を思い出と

して記録し、残していく責任ある仕

事です。決して自己満足にならず、

お客様が望む写真を撮影できるよ

う勉強の毎日です」。真剣に仕事と

向き合う六角さんの思いが伝わっ

てきます。

「卒業して今思うのは、自分たちが

いかに恵まれた環境の中で学べたか

ということ。在学生の皆さん、ど

うか仲間との楽しい思い出をたくさ

ん作ってください。社会に出てからは

女性が第一線で働くことの大変さも

ありますが、自分らしく、自分が思

う生き方を見つけ、それを実現する

力を培ってください」と、在学生の皆

さんへ熱いエールをいただきました。

### カンボジアを訪問して

郡山女子大学食物栄養学科  
准教授 岡部 聡子

「こんなところに日本人」というテレビ番組がある。世界の僻地で働く日本人を紹介する番組である。1月の下旬、国際交流科研究費(国が大学等の研究者に対して提供する補助金)により、活動地となるカンボジアへ視察に出かけた。今回のプロジェクトは子どもたちが主体的に健康と地域のつながりについて考えられるヘルスリテラシー(健康情報を理解して使う力)の向上を目指して、具体的には、調理実習や演劇手法を含む参加型健康教育を、日本・インドネ

シア・カンボジアの3か国の小学校で実施する。

その視察の中でカンボジアのFIDR(公益財団法人国際開発救援財団)で活躍する管理栄養士の甲斐永里さんと知り合った。彼女は、海外の病院で勤務し、その後大学院で公衆衛生を学んできた方で、3年前から現在のFIDR活動に関わっている。これまで手掛けた病院給食のシステム作りは軌道にのり、今では100%現地の病院の運営で365日3食提供している。昨年からは、外来栄養指導も開始されたという。その様子を見学させていただいた。彼らのやり取りの中で、甲斐さんは現地の方々から厚い信頼を受けていることを実感し



真ん中が甲斐永里さん。左はカンボジアの管理栄養士として活動する医師。右が筆者。

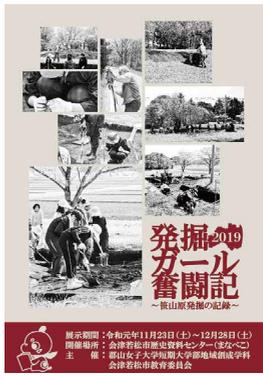
### 地域の文化財を守る女子

短期大学部地域創成学科  
教授 會田 容弘

今年3月に「学芸員に採用されました」という嬉しい報告が舞い込んだ。彼女は短大文化学科(地域創成学科の前身)を卒業後、専攻科に進学し、学士(文学)を取得した。最初は埋蔵文化財発掘調査の仕事(任期付き嘱託職員)、次に文化財保護の仕事(嘱託職員)を経験しての快挙。苦勞したと思うが、その経験は無駄ではなかった。

「考古学は面白いんだよ」と笹山  
原の発掘調査に誘う。楽しい経験をしてみよう。成果を「博物館展示」にする企画展「発掘ガール」である。考古学がやめられなくなったら、専攻科に進学し、考古学や文化財の知識をさらに深める。その知識をもとに社会へ。

今、文化庁では文化財を守る職員養成に苦慮している。私たちが行ってきた等身大の「発掘ガール」展示活動が全国の地方紙を賑わした。その取材を申し込んできた記者さん曰く「文化庁担当の記者なのですが、文化庁も本学の女子教育に注目している。これからは地域の文化財は女子が守るのだ。」



奮闘記ポスター

### 復興の灯火プロジェクト

東日本震災発生から満9年の3月11日、郡山市のJRR郡山駅西口広場で郡山女子大学短期大学部主催の「復興の灯火(ともしび)プロジェクト」が行われた。

地域創成学科のプロジェクト演習の一つ、郡山中田地区の海老根伝統手漉き和紙の保存・普及の成果として取り組んだ。震災の記憶と未来へ向けたメッセージを伝えようと、学生をはじめ市内の小中学生、郡山女子大附属高校生が和紙に願いや絵を描いた灯火350個を作り、広場に並べて点灯した。

多くの市民が足を運び、子供たちの夢や故郷の復興を祈る思いを表した灯火を眺めていた。



灯火に祈りをこめて

### 方部別教育懇談会中止

恒例の方部別教育懇談会は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止と決定しました。

### 美術科

### 紙上美術展 91

2019年度 明るい選挙啓発ポスターコンクール県審査入選作品です。授業のみならず、長期休業中の時間を活用して熱心に制作を行っています。美術科では公募展覧会やコンクールへの出品を積極的に行っており、授業やさまざまな講座での学びを存分に発揮し、毎年多数の輝かしい成果を残しています。



優良賞 徳田 葉月(美術科2年)



最優秀賞 加澤 くるみ(美術科3年)



入選 佐藤 希美(美術科3年)



優秀賞 佐藤 桃夏(美術科2年)



入選 石川 理菜子(美術科2年)

### 木もれ陽

「嘘つきゲームで危機を乗り越えよう」

コロナウイルスによる自粛要請でコミュニケーションの在り方にも新たな配慮が求められています。挨拶や食事での会話をしむなどの行為は私たちの基本です。ウイルス感染拡大の渦中これらの行為を真逆にして大切な友人やその背後にある家族の健康を守って行きましょう。そこで感染収束までの期間限定で「嘘つきゲーム」をしましょう。ルールは本当の気持ちと実際の行為を正反対に表現すること。親しい人に顔も合わせず距離を取り素っ気なく話す。この冷たい態度は思い遣りです。スキン

シップは最も思い遣りの無い態度となります。ゲームでは互いにルールを共有しておくことが重要です。相手との意思疎通が図れていないとお互いに辛い結果になります。うわべの態度に囚われず相手の気持ちをおもひやる能力も重要です。又、今は先ず自分を一番大切にする心も心掛けて下さい。それは周囲の人たちへの感染を防ぐことに繋がって行きます。逆に自己犠牲は美德ではありません。自己の感染は結果としてあなたと繋がる人々を不幸に巻き込んでしまおうからです。皆で心の手を繋いで行きましょう。(七)

### BOOK 第13回 郡山女子大学 大学図書館

新しい本が届きました(第13回)



棉: 生活工芸双書  
森和彦, 松下隆ほか著, 農文協 請求記号 750.21||Mo



バンクシー: 壊れかけた世界に愛を  
吉荒夕記著, 美術出版社 請求記号 723.33||Ba



住まいが都市をつくる  
小沢明著, 左右社 請求記号 523.07||O



幼稚園教諭になるには  
大豆生田啓友著, ベリかん社 請求記号 376.14||O